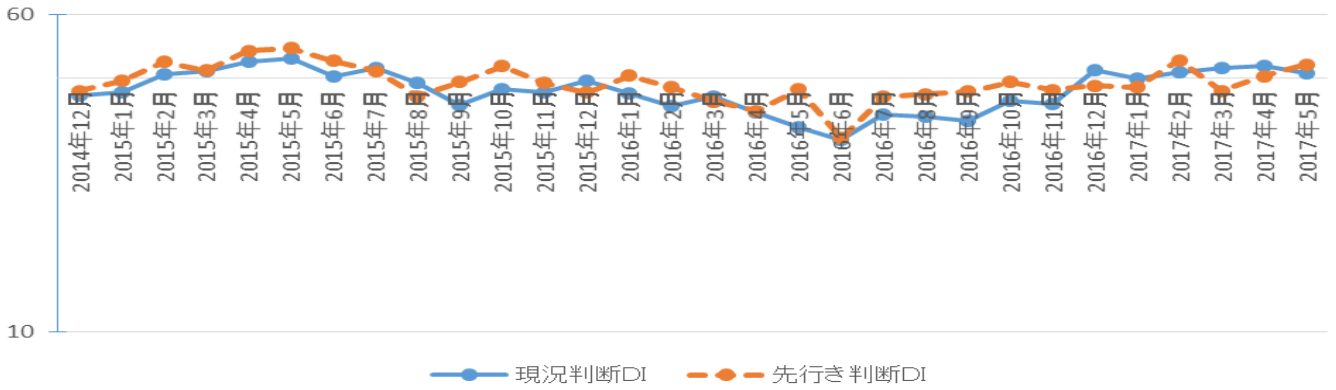


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2017年5月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《販売量の動き》キャンペーンや売場での品ぞろえの改善で、特にファストフードの売上が5%増加している。継続的に実施している夕・夜間対策で、対象商品の伸びが続いており、前年同期比110%以上の実績である。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	《お客様の様子》企業向け案件に関しては、住宅性能評価や省エネ申請等、直接の設計の仕事ではなく、二次的な仕事にシフトしている。【設計事務所（経営者）】
		やや悪	《お客様の様子》最近是一般家庭でもセキュリティに対する意識が高く、防犯カメラや人感センサーライト等の設置の仕事が増えているが、安価な商品と比べられて苦戦している。景気が回復しているという実感はない。【その他住宅〔住宅管理〕（経営者）】
	企業 動向 関連	やや良	《取引先の様子》ケーブルテレビ事業者は、来年から始まる4K、8K放送への対応で伝送路の光化や広帯域化が急務のため、設備投資が盛んになりつつある。【電気機械器具製造業（総務担当）】
		不変	《取引先の様子》低金利が続く、設備投資の検討や実施をする会社が目立ち始めているが、設備投資の効果が業績に反映されている会社は少ない。無駄な設備投資が業績悪化を招いている会社も見受けられる。【会計事務所（職員）】
		やや悪	《受注価格や販売価格の動き》新規見積案件が多くなっているが、受注率は低下している。複数社から同じ案件に関する見積依頼が来ており、競争が激しくなっている。【窯業・土石製品製造業（社員）】
	雇用 関連	やや良	《求職者の動き》求職者数は前年同月比で1割程度減少している一方で、企業では、業務量の増加に雇用を増やしてでも対応を迫られている。【職業安定所（所長）】
		不変	《求人数の動き》新規求人数は、建設、運輸を始め飲食、福祉やサービス業等で幅広く増加している。【職業安定所（職員）】
		やや悪	
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	チェーン統合に伴うブランド変更が進むにつれて、売上が増加しており、今後も良くなる。ブランド変更が一段落した後にはどうなるかは未知数である。【コンビニ（エリア担当）】
		不変	人手不足や資材の高止まり等で建築物価も上がっている。建築業界全体では、新築需要が伸び悩んでいるが、老朽化した建物の耐久工事やリノベーション工事は増加している。【住関連専門店（営業担当）】
		やや悪	ここ3か月の来客数は横ばいで、前年同月と比べると約1.5%減少している。今期に入って前年同月を上回ったことはなく、売上も厳しい状況が続いている。【スーパー（商品開発担当）】
	企業 動向 関連	やや良	有事となった際に経済にどう影響するか等、不安要因はあるものの、保護貿易主義的な動きは、ある程度抑制され、この先数か月は安定した推移が見込まれる。【電気機械器具製造業（企画担当）】
		不変	株高や円安になる要因があまり見当たらず、個人投資家の様子見が続く、当面は現状のままの景気が続く。個人投資家以外の個人消費は、ボーナス次第とみられる。【金融業（企画担当）】
		やや悪	景気の良くなるような話や動きは全く見られない。中小企業や零細企業にとって良くなる材料は全くなく、苦しい状態が続く。【印刷業（営業担当）】
	雇用 関連	やや良	新卒採用で、足元の求人ニーズには一服感があるものの、年間ベースでみた求人数は10%強と右肩上がり増加が続いており、引き続き堅調に推移する。【人材派遣会社（支店長）】
		不変	有効求人倍率等は高い水準を示している。現状の従業員で対応可能な業務量の、ほぼ限界に達している分野もあり、企業は、人材確保が進まなければ、これ以上業務を拡大できず、景気の改善も足踏み状態となる。【職業安定所（所長）】
やや悪		夏場に入り景気上昇を期待したいが、根拠となる要因が少ない。【新聞社〔求人広告〕（営業担当）】	